



# 平成29年度 向陽中学校経営・運営ビジョン

## <経営・運営基本方針>

生徒の力を引き出し、高い志を持って「夢の実現」に努力し、将来地域や社会で活躍し、貢献できる「生きる力」を身につけさせるために、次の4つを柱として保護者、地域と連携して、活力ある学校づくりに邁進する。

1. 知・徳・体の調和のとれた力「生きる力」を育成する
2. 常に学び続ける教職員集団をめざす
3. キャリア教育の充実を図る
4. 保護者や地域の期待に応える

## <学校の実態>

- ・素直で明るい、挨拶ができる
- ・コミュニケーション力、表現力に課題がある

## 相双教育アピール

『愛と英知と創造』

### <社会につながる 未来を切り拓く 相双の教育>

- ～知・徳・体の調和のとれた子どもを育てます～
- 知：研ぎ澄まされた知性、学びの創造
  - 徳：認め合う心、高め合う仲間
  - 体：躍進する体、健康な心
  - 特別支援教育：多様な学び、共生へのあゆみ
  - キャリア教育：未来の自分発見

## 教育目標

「知性」「品格」「至誠」「体力」  
を身につけた活力ある生徒  
～夢の実現～

## <めざす生徒像>

- 知性：自ら学び、自ら考え、自らの言葉で表現できる
- 品格：挨拶や返事、言葉遣いがきちんと身につけている
- 至誠：思いやりの気持ちをもって、協力して生活できる
- 体力：自らの心や体を大切にし、あたり前のことを実行できる

## 重点目標

他とつながり、自己の目標達成に向け  
全力で努力できる

## <めざす学校の姿>

- ・授業改善を進め、学力向上を図る学校
- ・特別活動を重視し、人間関係を深める学校
- ・安全で学ぶ環境が整っている学校
- ・地域や家庭を理解し、信頼関係が築かれている学校

重点目標を支える  
育てたい4つの力

### <自己を伸ばす力>

自分の良さを生かし、  
困難さや苦手意識があっても「やればできる」と  
考えて、主体的に行動できる力

### <協働する力>

他者を尊重し、自分の  
役割を自覚して、目的達成のために協働して行動し、  
リーダーシップがとれる力

### <見通す力>

課題解決や目標を達成  
するために、進んで資料  
や情報を収集して、計画  
立案、実践、改善できる  
力

### <創意努力する力>

志を持った将来の夢や  
目標の実現に向けて、生活や勉強の仕方を創意工夫して、  
最後まで努力できる力

## <確かな学力>

- 1 生徒主体の学ぶ喜びのある授業づくりを展開します
    - 授業の構え(準備、聴く、話す姿勢等)の指導と学習環境整備
    - ねらいを明確にした、協同的な学習活動の展開の工夫
    - 根拠を明確にして自分の考えを書き、話す活動の充実
  - 2 個に応じた指導を工夫します
    - T T指導や習熟度別学習、コース別学習、グループ学習等の工夫改善
    - 生徒の実態に応じて繰り返し学習や補充・発展学習の実施
  - 3 学びの習慣化の指導を充実します(小中連携)
    - 家庭学習の取組に対する支援
    - 授業と関連づけた学習課題・週末課題の提示
    - 家庭学習の仕方を明示したガイダンス資料の作成と活用
- ⇒各種学力検査結果：県・全国平均

PDCAサイクルで常に点検・評価、改善に努めます

## <心豊かな人間性・社会性>

- 1 所属感や充実感を高める指導を充実します
    - Q U検査を活用した互いを認め、尊重し、思いやり、協力して活動する集団作り
    - 一人一役など、集団の一員として活動する機会の充実
    - 生徒の目標設定から自己評価までのPDCAサイクル実践のための細やかな支援
  - 2 報徳の教えを活かす道徳教育(至誠)を充実します
    - 道徳の時間の指導の充実
    - 規範意識や社会で必要なマナーの指導の充実
    - いじめ根絶対策の推進
  - 3 新聞の活用と読書活動を充実を図り、幅広い見方や考え方を育てます
  - 4 キャリア教育を充実させます
    - 将来像と学習目的の明確化
    - 社会人出前講座の実施
- ⇒不登校復帰率：30%、いじめ発生件数：0

## <健康・体力>

- 1 心身の発達に関する指導を充実させます
    - 保健体育の授業や特別活動における指導の充実と運動に親しむ態度の育成
    - 目的意識や具体的目標をもたせた指導、部活動の充実
    - 心のケアに関する指導の充実(S CとS S Wの活用)
  - 2 望ましい生活習慣の育成を図ります。
    - 健康や食育に関する指導の充実
    - 放射線教育に関する指導の充実
- ⇒体力調査：県平均

## <安全指導・環境整備>

- 1 自ら考え、判断できる安全指導を実践します
    - 安全に関する日常生活における自己管理能力の育成
    - 自転車の乗り方等、登・下校時の交通安全指導の徹底
    - 各教科や特別活動、総合的な学習の時間の指導と関連させた防災教育の推進
  - 2 学ぶ環境づくりに努めます
    - 清掃指導や掲示教育など学習環境を整える指導の充実
    - ICT機器の整備
    - 図書館の有効活用
    - 体験的ボランティア活動や清掃活動等を通じた勤労・奉仕の精神の涵養
  - 3 安心して学べる環境整備に努めます
    - 施設設備の常時点検と即時対応
  - 4 ネットトラブルの未然防止に努めます
    - ネット犯罪・トラブルからの回避力の育成
    - メディア(テレビ・ゲーム・携帯電話・スマートフォン等)コントロール力の育成・「携帯・スマホ使い方宣言」の推進
- ⇒登下校時の事故発生件数0、ネットトラブル発生件数：0

## <信頼される学校>

- 1 わかりやすい情報の発信に努めます
    - 学校だより、保健だより等の定期的発行(月2回以上)
    - 学校評価の実施と評価結果の公表
    - 学校Webページ、緊急時一斉配信メールシステムによる発信
  - 2 地域を理解し保護者との連携を深めます
    - 家庭訪問や学年P、部活動、保護者会等の実施
    - 6校PTA、愛育園、学校評議員、地区との連携
    - PTA行事への積極的参加
  - 3 職責の自覚と不祥事防止に努めます
    - 校内服務倫理委員会の定期的開催
    - 全職員の和と相互理解を基に、チーム学校としての教育活動の展開
- ⇒開かれた学校調査結果：95%、教職員不祥事発生件数：0